

技術士包装物流会 月例研究会 講演要旨

日時	平成 29 年 3 月 30 日(木) ----- 18:00~20:00
場所	日本技術士会会議室 葺手第二ビル5階((フキデダイニビル)東京:田中山ビルの隣)
演題	「物流センター投資戦略からアパート経営へ:共通点は減価償却メリットだ
講師	CLE 田中技術士事務所 技術士(経営工学部門、総合技術監理部門)田中 信博 氏 (当会会員)

内容	
----	--

1. 概要

トイレットリー業界の花王で、岩槻ロジスティクスセンター等の設計開発・設備投資経験から、スペース生産性評価の減価償却メリットを会得しアパート経営への応用事例を紹介された。

2. 物流センターの必要性

花王の場合、何故必要としたかを当時の社内事情を踏まえ説明された。

3. 物流 5 ヶ年計画

在庫の一元管理と計画輸送により、オペレーションコストを最小化する情報システム化を急いだ。「オンラインサプライシステム」の確立。

花王独自のオーダーピッキングシステムを実現した。

4. 物流センターの良否

生産性が重要と指摘される。

$\text{スペース生産性} = \frac{\text{出荷量 (ケース換算/日)}}{\text{延床面積 (坪数)}}$
--

具大的な事例をあげて、製品1ケースあたりのスペースコストを紹介された。一定のスペースを投じた場合、一定の出力が得られないと過剰投資となる。自社での投資による物流センターの建設を提案されている。減価償却が終われば、メリットが大きい。コンパクト化設備投資が重要である。

5. アパート経営への転身

アパート経営と物流センター経営の本質は、「スペース生産性や収益性」の点で共通点がある。アパート経営成功の要件

- ①立地条件 ②利回り10%物件を探す ③原価償却・節税対策を立案

一つでも外せば、失敗である。イノベーションは、事業基盤の上に今ある技術の組み合わせで生み出せる。

以上:文責 研究会担当、住本